

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)-CONV</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>めい 【技能別】 上級 会話 Advanced: Conversation</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>かわかみ しきこ 河上 志貴子 (KAWAKAMI, Shikiko)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>ひつよう おう じゆぎょうちゆう しりょう はいふ 必要に応じて、授業中に資料を配布する。</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>げんだいしゃかい もんだい と あ ぼんぐみ きろくえいが とくしゅう だいざい <ul style="list-style-type: none"> 現代社会のさまざまな問題を取り上げたニュース番組、記録映画や特集を題材にして、ディスカッション、グループワークや口頭発表をもって、より専門的な内容について説明する練習や議論する練習を重ねる。また、情報収集などの場面で、欲しい情報を効率よく入手できるように質問の工夫や練習もする。 ニュース解説などの特有の表現を身につけ、複雑で難易度の高い事柄を誤解のないように、また簡潔に伝えられるように練習を行う。 2～3回、会話・発音の小テストも実施する予定である。 </p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>ろんせつ しゆし せいかく はあく てきかく か かんけつ あいて せつめい <ul style="list-style-type: none"> ニュースや論説の趣旨を正確に把握し、的確に、且つ簡潔に相手に説明できるようにする。 数人による会話や議論の場で、自分の意見を分かりやすく纏めて、効率よく他者に伝えることができるようにする。また、表現への配慮をしつつ、バランスよく意見を尋ねたり、同意や反論を述べたりするなど、相手に不快感を与えない会話を行うための工夫ができるようにする。 上級レベル(日本語能力試験N1に相当)の文法や語彙をさまざまな場面で使えるように応用力を身につける。 </p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>しゅつせき じゅうし まいかい がくしゅうかつどう せつきょくてき さんか もと <ul style="list-style-type: none"> 出席を重視する。このクラスでは、毎回の学習活動への積極的な参加が求められる。このほか、小テストと口頭発表も評価の対象とする。 </p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>た ちゅうい <ul style="list-style-type: none"> 初日にプレテストを実施するので、必ず初回から出席すること。 </p>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)/R/DIS
<u>クラス名 Title</u> <small>ぎのうべつ じょうきゅう じじにほんご</small> 【技能別】 上級 時事日本語 Advanced: Reading / Discussion	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> <small>さわにし としこ</small> 澤西 稔子 (SAWANISHI, Toshiko)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>しんぶん きじなど えら</small> 新聞記事等を選び、 <small>はいふ</small> コピーを配布する。	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>さまざま しんぶん きじなど よ ないよう りかい はあく じゅうぶん おこな</small> 様々なジャンルの新聞記事等を読み、その内容の理解、把握を十分に行ったう <small>えで ないよう はな あ おこな など み ばあい</small> えで、その内容について話し合いを行う。(ビデオ等を見る場合もある) また <small>さんかしゃ かくじかんしん えら はっぴょう きかい もう よてい じぶん</small> 参加者が各自関心のあるテーマを選び発表する機会を設ける予定である。自分の <small>くに ひかく せっきよくてき いけん だ じゅぎょう さんか</small> 国との比較など、積極的に意見を出し、授業に参加してもらいたい。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>しんぶん きじ など どっかいりよく りかいりよく やしな</small> 新聞記事、ビデオ等の読解力・理解力を養うこと。 <small>じぶん いけん ひょうげん ちから やしな</small> 自分の意見をわかりやすく表現できる力を養うこと。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>しゅつせきじょうきょう さんかたいど かんじしょう ふくしゅう ひょうか</small> 出席状況・参加態度・漢字小テスト・復習テストにより、評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>このクラスは 桂 キャンパスでも 提供 されます。 昨年度までの 上級 日本語講座と</small> <small>おな ないよう かつら じゅこうせい こくさいこうりゅう</small> 同じレベル・内容のクラスです。桂 キャンパスの受講生も、国際交流センターの <small>プレースメントテストを受けることが望ましい。(p.17 参照)</small>	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)–R</p>
<p><u>クラス名 Title</u> <small>めい</small> <small>ぎ のうべつ</small> <small>じょうきゅう</small> <small>こうどく</small> 【技能別】 上 級 講読 Advanced: Reading</p>	<p>プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u> <small>こうし</small> <small>あおたに</small> <small>まさやす</small> 青谷 正妥 (AOTANI, Masayasu)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u> <small>きょうかしょ</small> <small>いのうえせいび</small> <small>あがわひろゆき</small> <small>しんちょうぶんこ</small> 『井上成美』阿川弘之 (新潮文庫)</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>じゅぎょう</small> <small>すす</small> <small>かた</small> 読解のクラスですが、関連事項の話し合いも少しは入ります。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>とうたつ</small> <small>もくひょう</small> <small>かた</small> <small>ぶん</small> <small>な</small> <small>とも</small> <small>せんそう</small> <small>はんたい</small> <small>にほんさいご</small> <small>かいぐんたいしょう</small> <small>い</small> <small>ざま</small> <small>まな</small> やや堅めの文に慣れると共に、戦争に反対した日本最後の海軍大將の生き様を学びます。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u> <small>ひょうか</small> <small>ほうほう</small> <small>じゅぎょう</small> <small>さんか</small> 授業への参加。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>た</small> <small>ちゅうい</small> <small>むずか</small> <small>ほんぜんたい</small> <small>よ</small> <small>こと</small> <small>でき</small> <small>とちゅう</small> <small>と</small> 難しいので、本全体を読む事は出来ません。途中を飛ばしたりします。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–G
<u>クラス名 Title</u> <small>ぎ のうべつ じょうきゅう そうごうぶんぽう</small> 【技能別】 上級 総合文法 (1) Advanced: Grammar (1)	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
<u>講師 Instructor</u> パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布 <small>さんこうとしょ とし つか にほんごひょうげんぶんけい にほんごぶんけい</small> [参考図書: 『どんな時どう使う日本語表現文型500』 (アルク)、 『日本語文型辞典』 (くろしお出版)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん ひょうげんぶんけい はびひろ と あ</small> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を幅広く取り上げながら、それらの <small>いみ ようほう かいせつ まな ぶんけい じっさい つか しんぶん き じ ずいひつ もち</small> 意味・用法を解説する。学んだ文型が実際に使われている新聞記事や随筆などを用 <small>さまざま おうようれんしゅう とお うんようりょく しゅうとく め ざ</small> いた、様々な応用練習を通して運用力の習得を目指す。 <small>さら げんごかん やしな にほんごひょうげん</small> 更に、言語観を養うために日本語表現についてのクイズやディスカッションも <small>おこな よてい</small> 行う予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>にほんごのうりょくしけん ひょうげんぶんけい しゅうとく はいけい</small> 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある <small>にほんご し く りかいはりょく やしな</small> 日本語の仕組みについて理解力を養う。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>きまつ しょう かだいていしゅつ はつびょう じゅぎょうさんかどあい しゅつせき そうごう ひょうか</small> 期末テスト、小テスト、課題提出、発表、授業参加度合、出席を総合して評価 する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>じょうきゅうそうごうぶんぽう こと ぶんぽうこうもく と あ</small> 上級総合文法(1)、(2)クラスで異なった文法項目を取り上げるので、1コマの <small>み の じゅこう かのう ぜんぶんぽうこうもく しゅうとく ばあい はるがつき あき</small> みの受講も可能である。N1レベルの全文法項目を習得したい場合は、春学期、秋 <small>が っ き けい ぞく りょう ごうけい じゅこう</small> 学期継続して(1)、(2)両クラス(合計4クラス)を受講すること。	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)–G</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>めい 【技能別】 上級 総合文法 (2) Advanced: Grammar (2)</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>こうし パリハワダナ ルチラ (PALIHAWADANA, Ruchira)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>きょうかしょ プリント配布 はいふ [参考図書: 『どんな時どう使う日本語表現文型500』 (アルク)、 『日本語文型辞典』 (くろしお出版)]</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>じゅぎょう すす かた 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型の中から重要な項目を選択し、それらの意味・用法を解説する。取り上げる表現を使った文章の読解や例文の作成などの応用練習を通して運用力の習得を目指す。 とりあ ぶんぼうこうもく について、きづ きづ 気付きにくい誤用やわかりにくい使い方などにしやうてん あ てきぎ 焦点を当てながら適宜ディスカッションを行う。おこな ぼ 母語との比較などを行うことによつて、それらの表現の使い方の原理を習得する。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>とうたつ もくひょう 日本語能力試験 N1 レベルの表現文型を習得しながら、それらの背景にある日本語の仕組みについて理解力を養う。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>ひょうか ほうほう きまつ 期末テスト、しょう 小テスト、かだいていしゆつ 課題提出、じゅぎょうさんかどあい 授業参加度合、しゅつせき 出席を総合して評価する。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>じょうきゅうそうごうぶんぼう 上級総合文法(1)、(2)クラスで こと ぶんぼうこうもく と あ 異なった文法項目を取り上げるので、1 コマのみの受講も可能である。N1 レベルのぜんぶんぼうこうもく しゅうとく 習得したい場合は、ばあい はるがつき あき 春学期、秋学期継続して(1)、(2) 両クラス (合計4 クラス) を受講すること。</p>	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)-COMP</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>ぎのうべつ じょうきゅう さくぶん 【技能別】 上級 作文 Advanced: Composition</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>いえもと たらう 家本 太郎 (IEMOTO, Tarou)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>プリント配布 [参考図書：『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>授業では毎回論文を課す(400字程度)。プリントでも学術的論述に必要な表現を学び、表現レベルを上げていく。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>①日本語でレポートや学術論文などを書く力をつけるために、学術的表現でよく使われる文型、表現や展開パターンを習得する。 ②グラフや引用文献を用いて、それについて論じる技術を身につける。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>授業で書いた論述課題の評価と出席による。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p>	

上級クラス Advanced Class	A(SS)–R/G
クラス名 Title <small>めい</small> 【技能別】 上級 読解・文法 <small>ぎ のうべつ じょうきゅう どっかい ぶんぽう</small> Advanced: Reading / Grammar	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ない]
講師 Instructor <small>こうし</small> <small>ほんだ あかり</small> 本多 朱里 (HONDA, Akari)	
教科書 Textbook <small>きょうかしょ</small> <small>ちゅう じょうきゅう にほん ごきょうかしょ にほん しょうたい だい ほん とうきょうだいがくしゅつぱんかい</small> 『中・上級日本語教科書 日本への招待 第2版』 (東京大学出版会) <small>ちゅうきゅう じょうきゅう にほんご</small> 『中級から上級への日本語』 (The Japan Times)	
授業の進め方 Content of the class <small>じゅぎょう すす かた</small> <p> <small>おんどく</small> <small>い み り かい</small> <small>なに の</small> <small>かくじ</small> テキストを音読しながら、意味を理解し、何を述べているのかを各自まとめてもら <small>ぶんぽう てきせつ めい ひつよう ところ かいせつ</small> います。文法的説明が必要な所は解説します。その後、その内容について、受講生 <small>かんれん しりょう くぼ</small> でディスカッションをします。関連する資料を配ることもあります。 </p>	
到達の目標 Goals of the class <small>とうたつ もくひょう</small> <small>なんかい ぶんしょう どっかい にほんご ぶんぽう りかい</small> やや難解な文章の読解や、日本語の文法のさらなる理解をめざすとともに、日本の <small>ぶんか にちじょう き もんだい じぶん ふか かんが</small> 文化や日常的な問題について自分なりに深く考え、まとめ、その意見を他の人に <small>つた ちから み もくひょう</small> 伝えられる力を身につけることを目標とします。	
評価の方法 Assessment <small>ひょうか ほうほう</small> <small>しゅつせき さんか たいど そうごう ひょうか</small> 出席、参加態度、レポートを総合して評価します。	
その他の注意 Miscellaneous <small>た ちゅうい</small> <small>よしゅう ばあい か だ よう か</small> 予習する場合は、貸し出し用のテキストを「きずな」から借りることができます。	

<p>上級クラス Advanced Class</p>	<p>A(SS)–LIS</p>
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>めい 【技能別】 上級 聴解 Advanced: Listening</p>	<p>プレースメントテスト [ある] めんせつ 面接 [ない]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>こうし ありもと まさよ 有本 昌代 (ARIMOTO, Masayo)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>きょうかしょ じゅぎょうちゅう はいふ 授業中に配布する。 さまざまなメディア教材 (ニュースやドキュメンタリー、 とうろんばんぐみ 討論番組などの生教材) を使用する。</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>じゅぎょう すす かた <ul style="list-style-type: none"> さまざまな分野におけるメディア教材を使用し、聴解力の向上を図る。 主にNHK『クローズアップ現代』などのアカデミックな番組を通し、教育、文学、福祉、環境、科学などの分野に関するアカデミックな語彙や表現の習得、理解を目指す。 情報の聞き取りやシャドーイング、内容に関するディスカッション、要約の練習も行う。 毎回、時事に関するリスニングの小テストを行う。 </p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>とうたつ もくひょう <ul style="list-style-type: none"> 高度な日本語の聴解力を養い、情報の背景にある日本文化や社会事情に対する理解も深めることを目指す。 アカデミックな語彙や表現の向上を目指す。 </p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>ひょうか ほうほう しゅつせき じゅうし しょう さいしゅう 出席を重視、小テスト、最終テスト</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>た ちゅうい かいめ じゅぎょう ちょうかい ほか おこな かなら しゅつせき 1回目の授業で、聴解レベルを測るプレテストを行うので、必ず出席すること。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SD)ーR
<u>クラス名 Title</u> <small>せんもんべつ じょうきゅう ろんぶんこうどく</small> 【専門別】 上級 論文講読 Advanced: Reading	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> <small>ながやま ひろあき</small> 長山 浩章 (NAGAYAMA, Hiroaki)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>にほん づく てつがく ふじもとたかひろ にっぽんけいざいしんぶんしゃ</small> 『日本のもの造り哲学』(藤本隆宏) 日本経済新聞社 (2004) <small>かつがん かつがく やすおかまさひろ けんきゅうしょ</small> 『活眼 活学』(安岡正篤) PHP 研究所 (2008)	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>こうどく ちゅうしん にほん せいぞうぎょうおよ にほん けいざい きそちしき かんが かつ</small> ・講読を中心に日本の製造業及び日本の経営についての基礎知識と考え方を <small>まな</small> 学ぶ。 <small>がくせい りんどく あと けいざいようご はいけいちしき かいせつ おこな</small> ・学生が輪読をした後、経済用語や背景知識について解説を行う。 <small>ひつよう おう えいぶんわやく しゅくだい だ</small> ・必要に応じて英文和訳の宿題を出す。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>だいがくいん にゅうし ごうかく にほんごりよく しゅうとく ほ</small> 大学院の入試に合格する日本語力を習得して欲しい。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>かい しゅつせき そうごうてき ひょうか</small> テスト2回と出席などによって総合的に評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>なんど たか しようご かいせつ ようやく はいふ じゅんび</small> 難度の高い用語の解説とポイントをまとめた要約を配布するのでテスト準備をすること。	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–R/G(CJ)
<u>クラス名 Title</u> <small>せんもんべつ じょうきゅう ぶんごぶんこうどく</small> 【専門別】 上級 文語文講読 Advanced: Reading / Grammar	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> <small>もり まりこ</small> 森 眞理子 (MORI, Mariko)	
<u>教科書 Textbook</u> <small>はいふ</small> プリント配布	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>ひょうじゆんにほんご しゅうとく お おも せんこう ぶんごぶん よ ようきゅう がくせい</small> 標準日本語の習得を終え、主に専攻で文語文を読むことを要求される学生に <small>たい ぶんご か ぶんしょう と あ ぶんぼうせつめい くわ き そこうどく おこな</small> 対して、文語で書かれた文章を取り上げ、文法説明を加えながら基礎講読を行 <small>めいじじだい にほん ぶんがく ぶんか れきし ほうりつ かん ぶんしょう ちゅうしん じゆんじこうどく</small> う。明治時代の日本の文学、文化、歴史、法律に関する文章を中心に、順次講読 <small>よてい ふくざわ ゆきち もりおうがい なかえちやうみん めいろくざっし</small> していく予定である。これまでに、福沢諭吉、森鷗外、中江兆民、『明六雑誌』な <small>ぶんしょう あつか</small> どの文章を扱った。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>きほんてき ぶんごぶん よ ぶん い み りかい てきせつ げんだいご お か</small> 基本的な文語文を読み、文の意味を理解し、適切な現代語に置き換えることができる。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>しゅつせき じゅぎやうさんかたいど かだいていしゅつ さいしゅう ひょうか</small> 出席、授業参加態度、課題提出、最終テストによって評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u> <small>おも じんぶんけい がくせい たいしやう ぶんや がくせい じゅこう</small> 主に人文系の学生を対象とするが、どの分野の学生でも受講できる。	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–R/COMP
<p><u>クラス名 Title</u></p> <p>せんもんべつ じょうきゅう ぶんしょうほう 【専門別】 上級 文章法</p> <p>Advanced: Reading / Composition</p>	<p>プレースメントテスト [ある]</p> <p>めんせつ 面接 [ある。ガイダンスをかねる]</p>
<p><u>講師 Instructor</u></p> <p>もり まりこ 森 眞理子 (MORI, Mariko)</p>	
<p><u>教科書 Textbook</u></p> <p>はいふ プリント配布</p>	
<p><u>授業の進め方 Content of the class</u></p> <p>にほんぶんか にほんしゃかい にほんじんろん げんだいぶんか あつか さまざま ぶんしょう 日本文化・日本社会および日本人論や現代文化を扱った様々なスタイルの文章を クラス全員で読み進める。</p> <p>よ あとかなら とうろん じかん じぶん いけん はっぴょう よ すす さい 読んだ後必ず討論の時間をとるので、自分の意見を発表すること。読み進める際、 必要があれば、各人の発音をチェックすることがある。</p> <p>ひとつ テーマにつき 2–3 回の講読・討論を行い、その後テーマにそったレポー トを提出する。</p> <p>ていしゅつ かくじん かなら くわ へんきやく せっきょくてき 提出された各人のレポートは必ずコメントを加え返却するので、積極的に ぶんしょう か れんしゅう 文章を書く練習をしてもらいたい。</p> <p>なお、読解法では難度の高い文章の読解力も要求されるが、発表や作文では かくじん げんざい かくじつ あ もくひょう 各人の現在のレベルを確実に上げることを目標とする。</p>	
<p><u>到達の目標 Goals of the class</u></p> <p>こうぎ りかい ひつよう じょうきゅう にほん ごぶん どのかのうりよく たか じぶん 講義を理解するために必要な上級レベルの日本語文の読解能力を高め、自分の いけん あやま つた こうとうひょうげんのうりよく ぶんしょうか さくぶんのうりよく 意見を誤りなく伝えることのできる口頭表現能力や、文章化する作文能力を やしな 養う。</p>	
<p><u>評価の方法 Assessment</u></p> <p>いちがつき すく かい かだい ていしゅつ さいしゅう き 一学期に少なくとも1回の課題レポートを提出し、最終レポートを決められた きじつ か 期日までに書くこと。</p> <p>じゅぎょう しゅつせき こうどく ぎろん さんか 授業に出席して、講読・議論に参加すること。</p> <p>せいせきはんてい そうごうひょうか おこな 成績判定はこれらの総合評価によって行う。</p>	
<p><u>その他の注意 Miscellaneous</u></p> <p>はいふ ぶんしょう まえ かなら め とお ぎもんでん あき 1. 配布された文章は前もって必ず目を通し、疑問点を明らかにしておくこと。</p> <p>さんこうとしょなど じゅぎょうちゅう しじ 2. 参考図書等は授業中に指示する。</p>	

上級クラス Advanced Class	A(SD)–P/DIS
<u>クラス名 Title</u> <small>せんもんべつ じょうきゅう けんきゅうはつびょう しつぎおうとう</small> 【専門別】 上級 研究発表・質疑応答 Advanced: Presentation / Discussion	プレースメントテスト [ある] <small>めんせつ</small> 面接 [ある。ガイダンスをかねる]
<u>講師 Instructor</u> ルチラ パリハワダナ (PALIHAWADANA, Ruchira)	
<u>教科書 Textbook</u> プリント配布 <small>さんこうとしょ だいがく りゅうがくせい ろんぶん しゅつぱん</small> [参考図書:『大学と留学生のための論文ワークブック』(くろしお出版)、『トピ <small>にほんごそうごうえんしゅう さが はつびょう じょうきゅう</small> ックによる日本語総合演習—テーマ探しから発表へ—上級』(スリーエーネッ <small>だいがく だいがくいんりゅうがくせい にほんご ろんぶんさくせいへん</small> トワーク)、『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』(アルク)]	
<u>授業の進め方 Content of the class</u> <small>どうにゅう もんだいていき もち ろんきょ けつろんていじ てんぼうていじ けんきゅう</small> 導入、問題提起、データを用いた論拠、結論提示、展望提示などといった研究 <small>はつびょう かくぶぶん もち にほんごひょうげん つか かた まなぶ べつ ひと</small> 発表の各部分で用いられる日本語表現の使い方を学ぶ。グループ別に、一つの <small>さくせい じっさい はつびょう おこな だんかい じっせん おこな</small> テーマについて、アウトライン作成から実際の発表を行う段階まで実践を行 <small>じっせん とお にほんご ろんじゅつ な にほんご</small> う。実践を通して日本語の論述スタイルに慣れ、日本語のプレゼンテーションス <small>しゅうとく</small> キルを習得する。レジュメ、スライドなどの作成や質疑応答の練習なども行う <small>よてい</small> 予定である。	
<u>到達の目標 Goals of the class</u> <small>がくじゅつけんきゅうはつびょう ひつよう にほんごひょうげん かくとくおよ</small> 学術研究発表のために必要な日本語表現の獲得及びプレゼンテーションスキ <small>しゅうとく とうたつもくひょう</small> ルの習得を到達目標とする。	
<u>評価の方法 Assessment</u> <small>はつびょう じゅぎょうさんかどあい かだいていしゅつ しゅつせき きじゅん ひょうか</small> 発表、授業参加度合、課題提出、出席を基準に評価する。	
<u>その他の注意 Miscellaneous</u>	